

■京丹後市観光協会の運営支援
【農林水産業費】(拡充) 7,976万円
(農林水産環境部 農林整備課)

近年拡大傾向にある有害鳥獣被害に対して、猪や鹿などの有害鳥獣捕獲を猟友会へ委託するとともに、与謝野町や豊岡市と協力して広域捕獲を実施します。

また、捕獲員の増員を図るため、新規に狩猟免許取得や猟銃を購入される方に対して、市が編成する鳥獣捕獲班に加入することを条件に補助金を交付します。

- 狩猟免許取得補助：1/2以内
- 猟銃購入補助：1/2以内(上限15万円)



昨年の広域捕獲の様子(久美浜町布袋野)

丹後半島ラリーの開催を支援します

■丹後半島ラリーの開催支援
【商工費】(拡充) 130万円
(商工観光部 スポーツ観光・交流課)

ラリー選手権ならではの迫力あるモータースポーツ大会の開催を支援し、全国へ本市をPRするとともに、観光客誘致を図ります。

- 開催予定日
- ・丹後半島ラリー2015
平成27年8月28日(金)～30日(日)
- ・ヒストリック関西ラリー2015
平成27年10月23日(金)～24日(土)



昨年の丹後あじわいの郷ギャラリーステージの様子

スポーツによる健康で活力のあるまちづくり

■京たんどスポーツの発行
【商工費】581万円
(商工観光部 スポーツ観光・交流課)

「人のチカラ・スポーツのチカラでまちづくり」を基本理念に掲げ、スポーツの分野で頑張っている子どもたちをはじめ、市民や本市出身者といった“人”に焦点を当てたスポーツ広報紙「京たんどスポーツ」を隔月で発行(年6回)し、スポーツのまちづくりを推進します。



京たんどスポーツ

「ジオパーク宝探しイベント」を活かした滞在型周遊観光の促進

■ジオパーク宝探しイベントの開催
【商工費】491万円
(商工観光部 観光振興課)

市内に隠された宝箱を謎解きしながら探し出す「ジオパーク宝探しイベント」を開催し、ジオパークや海の京都の魅力に触れながら、市内での宿泊につなげる周遊観光を推進します。

○開催予定日：7月中旬から10月下旬まで



宝探しイベントの宝箱

丹後大学駅伝を支援します

■丹後大学駅伝の開催支援
【商工費】99万円
(商工観光部 スポーツ観光・交流課)

将来、箱根駅伝を超える大会となることを目標に丹後大学駅伝(関西学生対校駅伝競走大会)の開催を支援し、本市のPRやスポーツ合宿の誘致を図ります。

○開催予定日：平成27年11月21日(土)
※久美浜公園～宮津市役所 約80km



丹後路を力走する選手

海水浴場にあるトイレ・炊事棟を改修します

■海浜施設の改修
【総務費】(新規) 8,690万円
(商工観光部 スポーツ観光・交流課)

老朽化した海浜施設(トイレ・炊事棟等)について、海水浴客等の利便性及び快適性を確保するため改修し、観光誘客を推進します。

※丹後町平・上野・久僧・中浜、網野町浜詰の5か所を予定



市内の海水浴場トイレ

2 美しいふるさとの自然環境を守り次代に継承するまち

美しい海岸を守るため市民みんなの協力が必要です

■海岸の漂着物回収
【衛生費】1,381万円
(市民部 市民課)

ふるさとの美しい海岸を守るために、京都府の補助事業を活用して京丹後市の海水浴場などに漂着したごみを回収し、処理します。



海岸に打ち寄せられた漂着ごみ(丹後町砂方)

生物多様性を育む環境づくりを推進します

■コウノトリと共生するさとづくり事業補助金
【農林水産業費】(拡充) 155万円
(農林水産環境部 農政課)

環境に配慮した生物多様性を育む農業を推進するため、ホタル、トンボ、カエル、メダカなどをはじめとした多様な生物やコウノトリなどの鳥類が共生する豊かな田園・里山の営農環境づくりを支援します。

(事業内容)

- ①市内の農業者を含む3戸以上の団体等が実施する水田ビオトープの設置・管理、生きもの調査等の活動を補助(ビオトープ新規：17,000円以内/10aなど)
- ②市内の農業者、農作物生産団体等が購入する市内で生産された特殊肥料やエコエネルギーセンター液肥の購入を補助(1/4以内)



水田ビオトープに集うコウノトリ

生物多様性を育む農業▶環境への負荷をできる限り低減して、多様な生物を育み、消費者の求めるより安心安全な農産物を生産する農業
水田ビオトープ▶休耕水田を常時湛水し、様々な生き物を育む生物空間

再生可能エネルギー導入促進支援補助金

■再生可能エネルギー導入の促進支援
【衛生費】300万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

市域内への再生可能エネルギーの導入を促進するため、市民太陽光発電所の売電収入の一部を充て、住宅用太陽光発電設備、薪・ペレットストーブ、蓄電池、省エネ設備等の設置整備経費の一部に対して補助金を交付します。



再生可能エネルギー導入促進支援補助金を活用した事例

平成27年度は分別取組1,000世帯を目指します

■生ごみ資源循環の推進
【衛生費】617万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

市では、市内全ての家庭生ごみの資源化を目指しており、今年度は1,000世帯を目標として対象地域の拡大を図ります。

新たに生ごみ分別に取り組む地域の生ごみ分別学習に加えて、ごみ減量のための4Rの推進、環境学習の実施など、資源循環の取組について普及啓発を行います。



新たに導入する生ごみ専用収集袋

4R▶Refuse(リフューズ：購入拒否)、Reduce(リデュース：発生抑制)、Reuse(リユース：再利用)、Recycle(リサイクル：再資源化)の4つの頭文字(R)をとった、ごみを減らすための取組のこと。